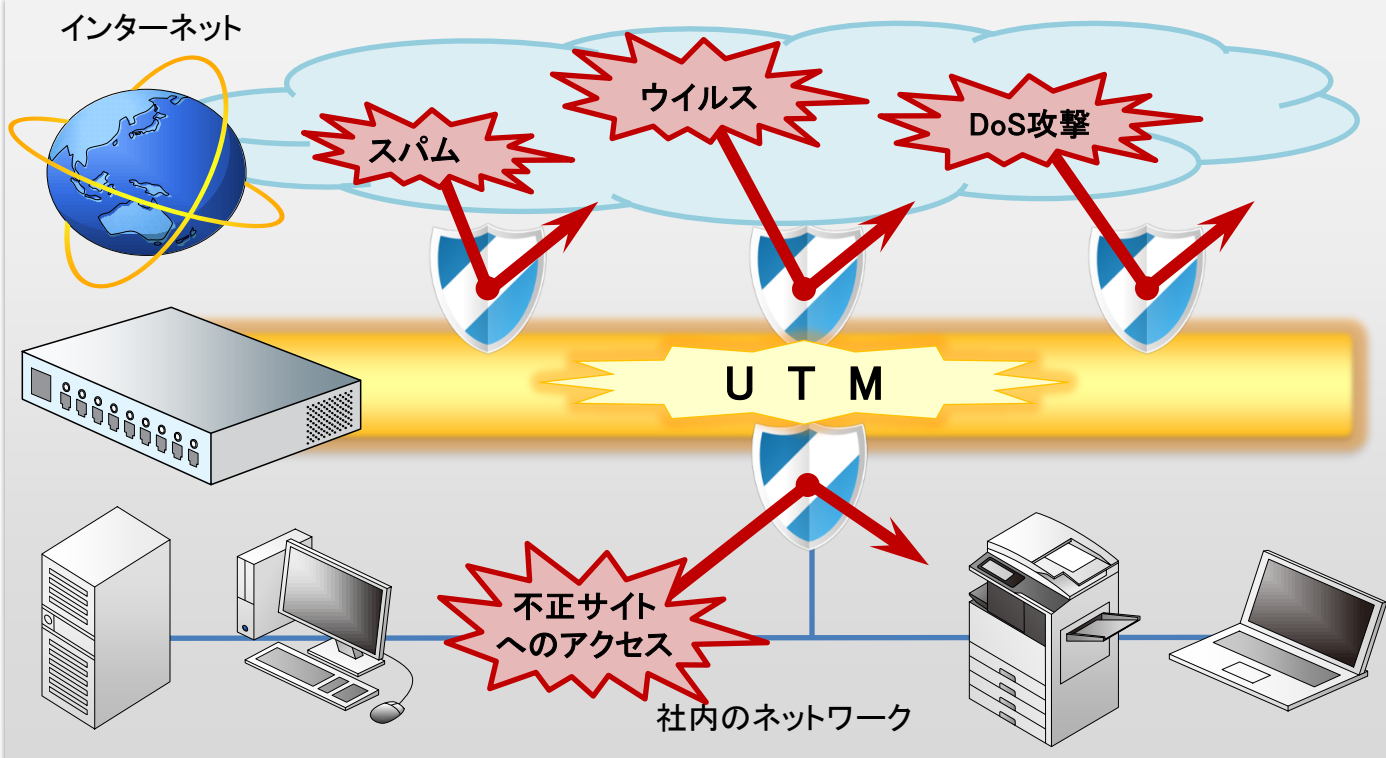


UTMをご存じですか？

UTMとは、セキュリティ機器の1つで、統合脅威管理(Unified Threat Management)と呼ばれる、
**インターネット上の様々な脅威から
統合的にネットワークを守ること**
を目的とした機器です。



UTMの主な機能

Webフィルタリング	社員が不正なサイトにアクセスしてしまうのを防ぐ。 ウイルスに感染するサイトやフィッシングサイトなど、不正・有害なサイトへのアクセスを防いだり、SNSへのアクセスを制限したりすることも可能。
アンチウイルス/アンチスパム	外部から送られてくるウイルスや迷惑メールを防ぐ。 メールに添付されたウイルスを検知したり、メールの差出人やタイトル・本文などからスパムメールを判断してブロックする
IDS/IPS (侵入検知システム/ 侵入防御システム)	ワームやDos攻撃など外部からの不正な侵入を検知したり遮断する。
ファイアウォール	ネットワークの外部と内部との境界などで不正アクセスやDoS攻撃から内部のネットワークを守る。

いいことばかりに見えるUTMですが、デメリットもあります。導入後に「こんなはずでは…」とならないためにも、メリットとデメリットをしっかりと把握しておきましょう。

	項目	内容
メリット	システムを簡素化できる	複数の機能が1つに統合されているため、システム全体を簡素化できる。
	導入が容易	導入に伴う工事などは特段必要なく、導入時に業務を長時間中断する必要がない。
	低い運用コスト	複数の製品を別々に運用するより、導入時・運用中の費用を抑えられるとともに、各製品を管理・運用する人的コストも抑えることができる。
	トラブル時の対応が容易	トラブル発生時、製品ごとにトラブルを切り分けて原因を調査する必要がなく、対応が容易にできる。
デメリット	SPOF（単一障害点）となる	UTMがダウンしてしまうと、インターネットへの接続もできなくなってしまう場合がある。
	スループット（処理能力）の低下	1つの製品で複数機能を提供するため、UTMの処理速度がボトルネックとなり、全体のスループットが低下する場合がある。
	機能の選択ができない	それぞれの利用環境に適した機能を選択できない。

～ U T M の 選 び 方 ～

○ 事業規模

大企業向けのものもあれば、中小企業向け、SOHO向けなど様々なものがラインナップされています。

今後の事業展開計画や事業規模、ネットワークを利用する利用者数、通信量を考慮しましょう。

○ 業務内容

WEBサイトをよく利用するのか、電子メールをよく利用するのか、個人情報などの機密性の高い情報を多く扱うのか、それぞれの業務内容に合ったものを選びましょう。

○ サポート体制

UTMは海外メーカーのものも数多く展開されており、国内での技術的なサポート体制が不十分な業者もあります。導入後にサポートが必要となる場合は、サポート体制もしっかり確認しておきましょう。

ご注意ください！

万能に見えるUTMですが、UTMを導入するだけでセキュリティ対策は万全というものではありません。複数の機能を持つUTMからは毎日のように様々なアラートが生成されます。このアラートのほとんどは危険性のない誤検知が多くを占めますが、それに油断してアラートを無視するなど適切に対処しないと本当の攻撃を見逃してしまいます。

そのため、アラートの監視や分析など専門知識を有する者が適切に運用する必要があり、そのような専門知識を有する者がいない場合は、専門業者に外部委託するなどの対応が必要となります。